

高次脳機能障がい ～私たちにできること～

脳卒中や交通事故などにより高次脳機能障がいを発症されている方は、全国に50万人くらいと推定されています。高次脳機能障がいは外見からはわかりにくく、実際の生活や社会に戻って初めて問題が顕在化することが少なくありません。そして、気づかれにくいことが原因で家族が抱え込み孤立してしまうこともあります。

家族や支援者はどんな困難に直面しているのか、周囲はどうサポートすべきか、関係者のみならず地域の皆さんと理解を深め、共に暮らせる社会に向けた様々な取り組みを考えることを目的に開催します。

日時

平成30年9月30日(日)

13時30分～16時30分(13時開場)

公立大学法人福島県立医科大学 講堂

第1部 講師 山口 加代子 氏



上智大学文学部教育学科心理学専攻卒業。横浜市中央児童相談所に心理判定員として入職。その後、横浜市衛生局保健所 心理相談員を経て平成3年 横浜市総合リハビリテーションセンターに臨床心理士として入職。現在、横浜市総合リハビリテーションセンター 機能訓練課 臨床心理士。リハビリテーション心理職会顧問。日本脳外傷友の会顧問。中央大学大学院非常勤講師。

主な著書・訳書には、『自閉症スペクトル』(共訳、東京書籍、1998年)、『心理的サポート』高次脳機能障害マエストロシリーズ4 リハビリテーション介入(医歯薬出版、2006年)、『心理学的アプローチ』特集高次脳機能障害治療・支援最前線(地域リハビリテーション 第6巻第10号 2011年10月)、『高次脳機能障害者に対する自己意識性への介入を目指した「模擬会議プログラム」の試み』(総合リハビリテーション 第42巻 第9号 2014年9月)、『夫と妻の心の旅』(「高次脳機能障害を生きる:当事者・家族・専門職の語り」ミネルヴァ書房2015年)、『脳にダメージを受けた方たちのこころとその支援』(「病気のひとのこころ」第9章 誠信書房 2018年)など多数。

【所属学会】日本心理臨床学会、高次脳機能障害学会

第2部 脳外傷友の会うつくしま 会員の方よりご講演
～自らの経験を当事者の立場から語る～

※当日、お車でお越しの場合は、会場近くの駐車場をご利用ください。

◎本研修は、「認定医療社会福祉士」のポイント換算の登録申請をしております。

主催 福島県医療ソーシャルワーカー協会

事務局:福島県いわき市内郷高坂町四方木田155 榎葉ときわ苑内 TEL 0246-27-1117

<http://www.fukushima-msw.com/>

医療ソーシャルワーカーとは、保健医療機関において、社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行います。具体的には、経済的問題の解決調整援助、療養中の心理的・社会的問題の解決調整援助、受診・受療援助、退院(社会復帰)援助などを、患者さんの主体性やプライバシーの尊重を重視しつつ行っています。